

■①「新入生です。よろしく！」

かつての学校は季節感にあふれていた。少なくとも「ゆとり教育」全盛までは…。

スポーツの秋を象徴する運動会、満開の桜の下の入学式、小学1年生が初めての通知表に胸を躍らせる夏休み前の終業式、新芽のように成長を実感する卒業式。そんな四季折々を紙面で伝えようとカメラ片手に取材におじゃましたものだった。

そこに導入された「ゆとり」。週5日制になり、授業時間を確保のため、夏休みが短くなったり、運動会が春に移されたり。2学期制を採用した学校は、夏・冬休みの前後の節目が消えた。季節感がぼやけていった。

その流れが来春、転換される。教科書が厚くなり、国語の教材に「新聞」が加わる。ポイント「編集の仕方や記事の書き方に注意して読む」とされた。

「新入生」となる新聞との接し方を先生の皆さんにもっと知ってもらいたい。そんな思いからこの欄を始めることにしました。自らの記者経験も交えて書いていくつもりです。最初となる次回の題は「駅売店の発表会」。よろしくお願いします。